

2007年度 早稲田大学 法学部

日本史 解答例

I 古代～中世の神祇信仰 <易>

問1 お 問2 八幡 問3 え 問4 神宮寺

問5 い・え 問6 菅原道真 問7 い 問8 度会家行

全問正解しかありえない易しい問題。

II 江戸時代前期の政治・外交 <やや易>

問1 奉公 問2 あ・え 問3 う・お 問4 え

問5 末期養子 問6 い・お 問7 あ 問8 シャクシャイン

問4のみが難問で、残りには早稲田定番の問題が多い。

III 明治時代のアジア外交 <易>

問1 征韓論 問2 お 問3 え 問4 閔妃 問5 あ 問6 下関

問7 北京 問8 い 問9 日韓協約 問10 朝鮮総督府 問11 う 問12 え

全問正解しかありえない易しい問題。

IV 近現代の日米関係 <標準>

問1 ワシントン ※解答用紙には「会議」と書いてある 問2 う

問3 幣原喜重郎 問4 い 問5 近衛文麿 問6 い 問7 お 問8 う

問9 日米新時代 問10 ニクソン 問11 日米構造協議 問12 法科大学院

問6 消去法で解く。問7 やや難しいが、深く考えれば正解できただろう。問11 難しいが、最近はお題されるようになってきた用語。

講評

昨年より易化した。法学部は、早稲田の中ではわりと「知識量」というか「語彙量」で解く問題が多い学部だが、今年は単純な問題が多かったため9割越えの受験者が続出したと思われる。もし8割を切るような得点だった場合は、学習法を根本から見直す必要があるだろう。